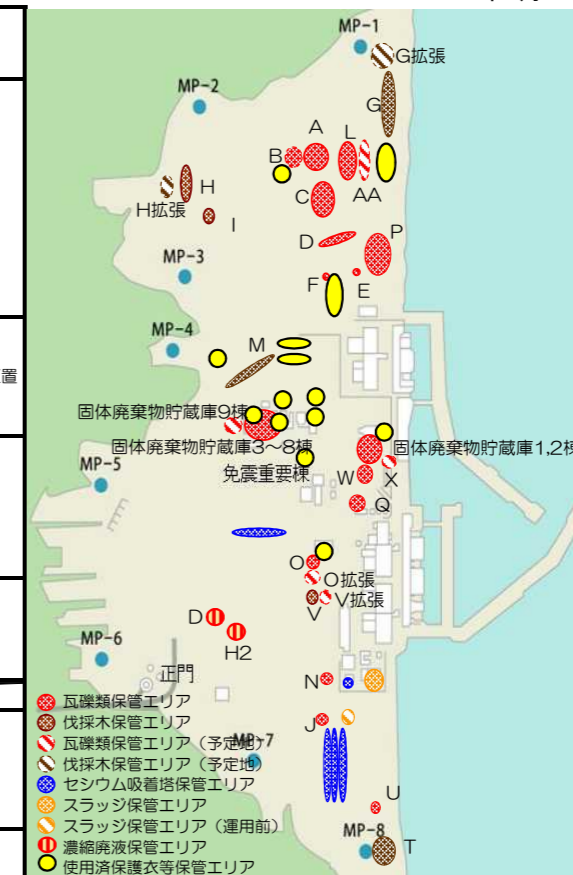


瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2017.2.28 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界空間線量率 (mSv/h)	保管量 ^{※1}	前回報告比 ^{※2} (2017.1.31)	変動 ^{※3} 理由	エリア占有率	保管量/保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.02	2,800 m ³	0 m ³	—	53 %	140500 / 181200 (78%)	<ul style="list-style-type: none"> フランジタンク解体片 エリアPにて一時保管中。(2015年6月15日～) 2017年2月末時点で353基(コンテナ)保管。 エリアCの焼却可燃物 リスク低減の観点から容器収納しエリアPにて一時保管中。
	C	屋外集積	0.01未満	53,700 m ³	+800 m ³	①②	85 %		
	F	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	+200 m ³	②	85 %		
	J	屋外集積	0.01	4,300 m ³	0 m ³	—	89 %		
	N	屋外集積	0.01未満	4,500 m ³	0 m ³	—	45 %		
	O	屋外集積	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—	95 %		
	P	屋外集積	0.01	41,900 m ³	+500 m ³	①③	65 %		
瓦礫類 シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	88 %	32600 / 57300 (57%)	<ul style="list-style-type: none"> エリアWの移動瓦礫は、実施計画認可待ち(2016年11月14日申請)のエリア(一時保管エリアX)に、仮設集積エリアとして一時仮置き。
	E	シート養生	0.02	12,400 m ³	+400 m ³	④⑤	78 %		
	P	シート養生	0.02	5,700 m ³	-200 m ³	⑥	63 %		
	W	シート養生	0.04	11,900 m ³	-800 m ³	⑦⑧	41 %		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100 %	20500 / 27700 (74%)	<ul style="list-style-type: none"> 覆土式一時保管施設(第3槽) 瓦礫類収納完了: 2015年8月21日 仮覆土 : 2015年10月26日完了
	A	仮設保管設備	0.30	1,900 m ³	+200 m ³	②	27 %		
	E	容器 ^{※4}	0.02	300 m ³	微増	—	19 %		
	F	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99 %		
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.02	8,100 m ³	+200 m ³	②⑨	68 %	8100 / 12000 (68%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な瓦礫類は、1～3号機建屋で発生した高線量瓦礫類。
	合計(ガレキ)				201,700 m ³	+1,300 m ³	—	73 %	
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	H	屋外集積	0.01未満	14,700 m ³	0 m ³	—	74 %	59700 / 81500 (73%)	<ul style="list-style-type: none"> 工事により発生した幹・根を随時受入中。
	I	屋外集積	—	0 m ³	0 m ³	—	0 %		
	M	屋外集積	0.01未満	39,500 m ³	微増	—	88 %		
	V	屋外集積	0.01	5,500 m ³	0 m ³	—	92 %		
伐採木 一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	8,500 m ³	0 m ³	—	65 %	19600 / 24900 (79%)	
	T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94 %		
合計(伐採木)				79,300 m ³	0 m ³	—	75 %		
保護衣 屋外集積	容器	0.03	64,900 m ³	+200 m ³	⑩⑪	—	91 %	64900 / 71200 (91%)	<ul style="list-style-type: none"> 2017年2月12日～雑固焼却設備点検停止中 使用済保護衣等焼却量 1519t (2017年2月末累積) 焼却灰のドラム缶数 280本 (2017年2月末累積)
合計(使用済保護衣等)				64,900 m ³	+200 m ³	—	91 %		
運用予定エリア	瓦礫類	X	シート養生	0.01	200 m ³	+200 m ³	⑫		<ul style="list-style-type: none"> 2017年4月3日～運用開始予定 車両解体工事スペース確保のため、エリアWより持込み
	伐採木(幹・根)	H拡張	屋外集積	0.01未満	10,500 m ³	0 m ³	—		<ul style="list-style-type: none"> 2017年4月3日～運用開始予定 土捨場造成工事に伴い、エリアIより持込み
合計(運用予定エリア)				10,700 m ³	+200 m ³	—			

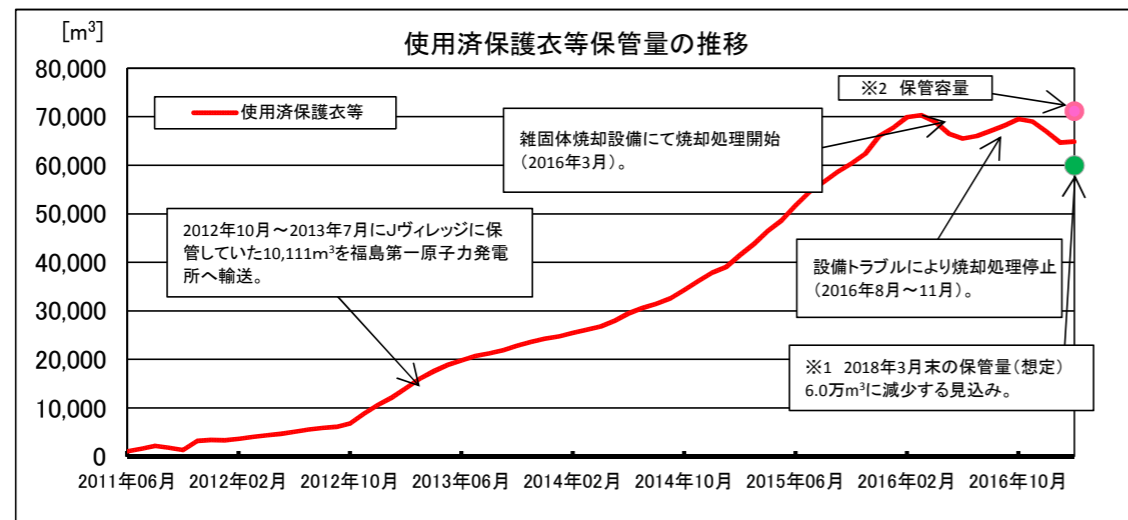
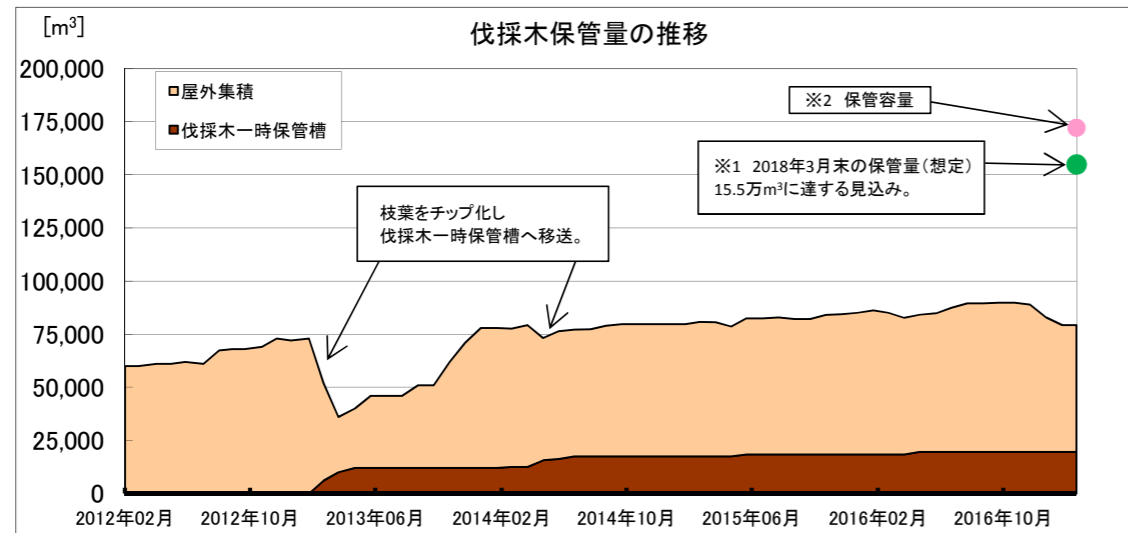
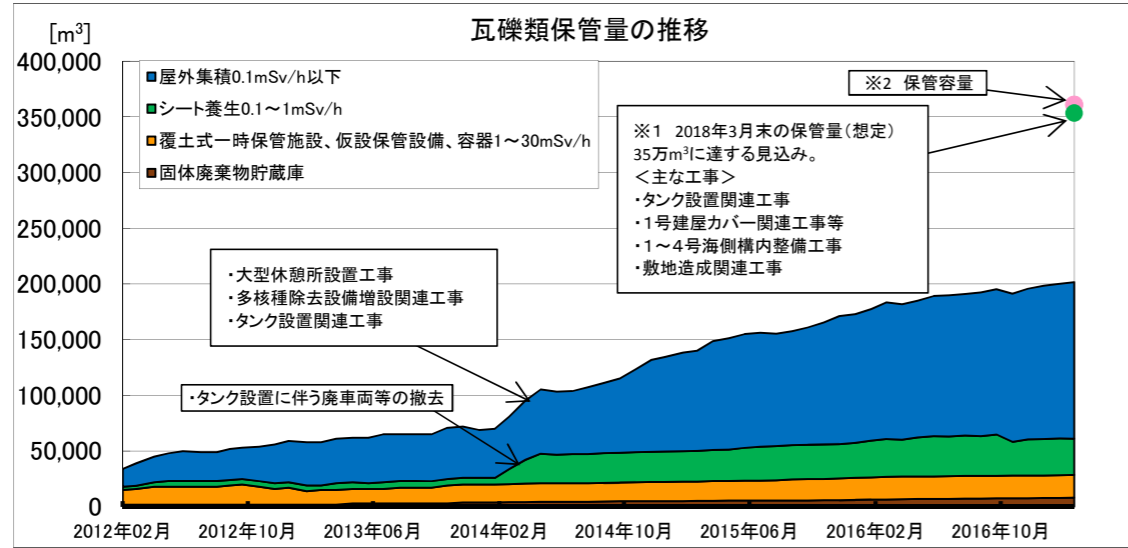
※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※3 主な変動理由: ①タンク設置関連工事 ②1～4号建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ③焼却対象物の受入 ④一時保管エリアPから金属瓦礫の受入 ⑤フェーシング工事
 ⑥金属瓦礫を一時保管エリアEへ移動 ⑦仮設集積エリアへ移動 ⑧エリア整理 ⑨水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)の保管 ⑩焼却処理 ⑪使用済保護衣等の受入 ⑫一時保管エリアWから瓦礫の受入
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。



水処理二次廃棄物の管理状況(2017.3.23時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2017.2.16)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理二次廃棄物 使用済吸着塔保管施設		セシウム吸着装置使用済ベッセル	758 本	0 本	3566 / 6239 (57%)	<ul style="list-style-type: none"> 吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) 	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	182 本	0 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,340 基			+25 基
			増設	1,014 基			+21 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	73 本			0 本
		多核種除去設備処理カラム	既設	9 塔			0 塔
水処理二次廃棄物 廃スラッジ貯蔵施設	廃スラッジ	モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	190 本	+1 本	597 / 700 (85%)	<ul style="list-style-type: none"> 除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。 	
		濃縮廃液	9,333 m ³	+71 m ³	9333 / 10700 (87%)	<ul style="list-style-type: none"> タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) 水位計0%以上の保管量 9233 [m³] タンク底部～水位計の保管量(DS): 約100 [m³] 	

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2017.2.28時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2016年11月14日申請中)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、実施計画(2016年11月14日申請中)の保管容量の運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2017.3.23時点)

